

赤井川村過疎地域持続的発展計画の達成状況の評価（令和4年度実績）

項目	目標値	単位	実績値 (R4年度)	単位	達成率	説明
1. 基本目標						
【指標】 生産年齢人口の確保	620	人	682	人	110%	総人口に占める割合として、30代～50代の子育て世代人口割合が多かったことによります。（構成比:全体の約28%を占めている）
【指標】 18歳未満の人口比率	13.9	%	12.9	%	93%	村の子育て支援施策の拡充と教育体制が充実してきたことにより、「赤井川村で子どもを生み育てたい」という希望をかなえたい環境が整っていることが数字として表れたと考えられます。
【指標】 社会増減数 *外国人住民除く	10	人	-61	人	-610%	コロナ禍の終息に伴う若年層から中年層の村外転出（進学・就職等）による。（実績値=令和3年度からの累計）
【指標】 人口1人当たりの地方税納付額	238,000	円	300,594	円	126%	大型建造物建設に伴い地方税収入額が目標値を上回ったことによります。
2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成						
【指標】 地域おこし協力隊員の定着率	40	%	36.4	%	91%	地域おこし協力隊制度導入後、村では11人の隊員が任期を終えています。この内4人の方が、任期終了後において赤井川村へ定着しています。（隊員終了後に村内に居住しているか否かを評価指標としています）
【指標】 移住定住支援事業による住宅建築戸数	7	戸	6	戸	86%	移住定住支援事業を活用し、令和4年度においては4戸の個人住宅が整備されています。（実績値=令和3年度からの累計）
3. 産業の振興						
【指標】 新規就農者数	10	人	1	人	10%	新規就農支援制度による令和4年度の新規就農は0人であった。なお、令和4年度には5人の新規就農研修生が就農に向けた研修活動に取り組んでいます。（実績値=令和3年度からの累計）
【指標】 観光客数	1,158	千人	731	千人	63%	新型コロナウイルス感染症も段階的に緩和され、国内観光客数は回復傾向にあります。
4. 地域における情報化						
【指標】 超高速ブロードバンド世帯カバー率	100	%	100	%	100%	国の補助制度を活用し、通信事業者に支援を行うことで、地域課題であった村内全域での超高速ブロードバンド環境が令和3年度末に整備されました。
5. 交通施設の整備、交通手段の確保						
【指標】 公共交通運行エリア拡大率 (路線延長増加割合)	120	%	118.5	%	99%	北海道中央バス赤井川線の路線廃止に伴い、地域でデザインする新たな地域公共交通体制を構築し、交通空白地解消に取り組みました。常盤～キロロ間、余市駅～コープさっぽろ余市店前までの路線拡大を行い、令和4年4月から市町村運営有償運送(交通空白地)により「むらバス」を運行しています。（令和4年度乗車数 9,184人）
【指標】 橋梁における長寿命化計画の進捗率	24	%	41.7	%	174%	橋梁長寿命化計画に基づき、点検・補修設計・補修工事を実施し、平成25年度策定・令和3年度に更新した計画の10/24橋の補修を終えています。
6. 生活環境の整備						
【指標】 救命救急士の運用	100	%	100	%	100%	高規格救急車の導入により、令和4年度から救命救急士の運用が開始されました。
7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進						
【指標】 保育所待機児童数	0	人	0	人	0%	村の保育所受入れは満2歳からであるが、城内及び広域での保育施設の利用により充足されているため、待機児童数は0人となっています。
【指標】 要援護・要介護認定高齢者の割合	21	%	23.2	%	110%	要援護・要支援介護認定高齢者の割合は、前年度と比較して2.2ポイント上昇しています。
8. 医療の確保						
【指標】 救命救急士の運用	100	%	100	%	100%	高規格救急車の導入により、令和4年度から救命救急士の運用が開始されました。
9. 教育の振興						
【指標】 コミュニティスクール導入学校数	3	校	3	校	100%	令和3年度よりコミュニティスクールの本格運用を行い、学校・地域住民・保護者が信頼関係を深め、より良い学校運営や児童・生徒の健全な育成を目的に活動しています。
10. 集落の整備						
【指標】 新規就農者数	10	人	1	人	10%	新規就農支援制度による令和4年度の新規就農は0人であった。なお、令和4年度には5人の新規就農研修生が就農に向けた研修活動に取り組んでいます。
【指標】 空き家活用数	1	戸	0	戸	0%	村内の空き家状況を把握するとともに、広域的な空き家バンクの周知を図ります。
11. 地域文化の振興						
【指標】 カルデラ太鼓保存会会員数	50	人	54	人	108%	村の伝統芸能として、学校行事のほかイベントにおいて演奏する機会があり、カルデラ太鼓と触れ合う機会もあるため、会員数の大幅な増減はなく、ほぼ目標値に近い会員数となっています。
【指標】 郷土資料館来館者数	50	人	48	人	96%	来館者は、村内学校の児童・生徒がほとんどです。新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあり、村外からの来館者はあまり回復していません。
12. 再生可能エネルギーの利用の促進						
【指標】 再生可能エネルギー導入公共施設数	2	施設	0	施設	0%	国の補助事業を活用し、カルデラ温泉熱利用可能性調査を実施した結果、温泉熱利用が可能と判断されたため、カルデラ温泉及び隣接する体育館での熱利用を行うために新たな源泉を掘削しました。
13. その他地域の持続的発展に関し必要な事項						
【指標】 カルデラの森整備事業	1	ha	1.49	ha	149%	全国的にも珍しいカルデラ盆地の景観は重要な地域資源であり、村、北海道森林管理局、地域住民が連携して、景観形成活動に取り組みました。（令和3年度からの整備面積の累計）(令和4年度参加者数 25人)